

RAへの対処（SG3関連）（案）

1 研究対象

SG3は、「電波伝搬」を研究対象としている。

2 RA-07に提出される勧告案

今回中にSG会合で採択された勧告案は全て郵便投票に付されており、RA-07に提出される勧告案はない予定である。（表〇-1）

3 課題の見直し

SG3における次会期の研究課題及びその評価一覧を表〇-2に示す。今会期中に追加されたものを含めて、23件の研究課題があったが、会期中に郵便投票により承認されており、RA-07に提出される次会期研究課題はない予定である。（1件の新規研究課題案及び3件の改訂研究課題案については郵便投票中である。）。次会期の課題は、我が国として、その重要性を認識し、支持する。

主な研究課題の概略は、以下のとおりである。

（1）研究課題225-4/3

デジタル変調技術を含めたLFおよびMF帯におけるシステムに影響する伝搬因子の予測

【概要】標準電波のような長波やラジオ放送等に使われている中波の電界強度推定に関わる課題であり、関連する勧告P. 684やP. 1147については我が国から積極的に寄書等を入力している（7件/今会期中）。また、研究成果を2010年までに勧告またはレポートにすることが明記された。

（2）研究課題211-4/3

300MHzから100GHzの周波数における近距離無線通信アクセスシステム及び無線LAN設計のための伝搬データとモデル

【概要】新勧告「広帯域移動通信のための遅延および角度プロファイル推定法」を我が国からの6件の入力を元に作成した。また、勧告P. 1238およびP. 1411に対しては計28件の寄書を改訂等に反映させ、本研究課題の進捗に大きく貢献している。

4 参考事項

SG3は、2004年10月、2006年10月、2007年4月に開催され、5件の新規勧告案及び51件の改訂勧告案が郵便投票に付され、1件の新規勧告案及び43件の改訂勧告案が承認されている。（4件の新規勧告案及び8件の改訂勧告案については郵便投票中であり、1件の新規勧告案及び3件の改訂勧告案については郵便

投票に付される予定である。)。今会期中に郵便投票により承認された勧告リストを表〇-3に示す。

重要課題の審議状況、勧告化の動向を以下に示す。

(1) 新勧告P. [TIME-SPATIAL\_PROFILE]

我が国の提案により作成された広帯域移動通信のための遅延および角度プロファイル推定法である。次世代移動通信の検討を進めている WP8F に対してもリエゾン文書により本件の情報が入力され、システム検討等にも寄与している。MIMO 等の新技術を用いた無線システム設計に不可欠な時空間伝搬モデルの確立に向けた基盤技術として有効な勧告である。

(2) 電離圏伝搬特性の検討

長波(LF)および中波(MF)伝搬に関する勧告P. 1147、P684について、長距離伝搬試験等の実施によりこれまで我が国から提案してきた勧告改訂案の妥当性を検証するフェーズにあり、太平洋航路や南極航路等を活用した世界規模の測定が予定されている。また、短波帯(HF)に対してもオーストラリア北部から日本に至る東南アジア地域で我が国が主導するグローバルな観測体制が確立しつつあり、勧告P. 533等の見直しに有効と期待されている。

(3) 短距離伝搬特性推定法の検討

屋内伝搬と屋外短距離伝搬に関する勧告P. 1238、P. 1411については、これまでの自ゾーン設計のための伝搬特性推定法としての利用だけでなく、周波数共用のための干渉評価への適用性の付加が求められるようになってきている。特に広帯域系の種々の無線システムがマイクロセル～ピコセル領域で多数存在する状況では屋内-屋内、屋内-屋外、屋外-屋外のそれぞれの関係での伝搬特性評価が求められ、P. 1238及びP. 1411の記載項目の見直しも含めた横断的な改善が必要である。

表〇－１ RA－〇7に提出される勧告案の評価  
(該当なし)

表〇－２ 次会期の研究課題及び評価

研究課題 番号	研究課題名	概要及び評価	新規 継続 改訂 削除	旧課題 との 関係	対応	備考
201-3/3	地上及び衛星通信システム並びに宇宙研究応用の計画に必要な電波気象データ	[概要]電波気象データの性質、統計、伝搬特性との関係等について研究する。 [評価]研究課題として適当	継続		支持	
202-2/3	地表伝搬の推定法	[概要] 地表伝搬の影響をサービスエリアと干渉評価の両方の観点から研究する [評価]研究課題として適当	継続		支持	郵便投票中
203-3/3	30MHz 以上の周波数における地上放送、固定（広帯域アクセス）及び移動業務のための伝搬データと推定法	[概要] 周波数等により影響される電界強度、多重路や時間・空間的統計について研究する。 [評価]研究課題として適当	継続		支持	
204-3/3	地上見通し回線のための伝搬データと推定法	[概要]各種の伝搬因子の影響による伝搬損失、局設計のための伝搬データ等について研究する。 [評価]研究課題として適当	継続		支持	
205-1/3	見通し外方式のための伝搬データと推定法	[概要]基本伝送損の統計分布、気候区依存性などを研究する。 [評価]研究課題として適当	継続		支持	
206-3/3	固定衛星業務と衛星放送業務のための伝搬データと推定法	[概要]減衰等の長期間統計分布及びその場所依存性、予測法、減衰の統計特性、反射パラメータなどを研究する。 [評価]研究課題として適当	継続		支持	
207-3/3	約0.1GHz以上における衛星移動及び無線標定業務のための伝	[概要]地形等による電界強度、伝搬ロス等の範囲、端末の環境の影響等について研究する	継続		支持	

	搬データと推定法	こと。 [評価]研究課題として適当				
208-3/3	固定衛星業務と地上業務に影響する周波数共用上の伝搬因子	[概要]周波数共用に関して、信号強度変動の分布、その場所・周波数・季節依存性等を研究する。 [評価]研究課題として適当	継続		支持	
209/3	システム性能解析における変動率と危険率パラメータ	[概要]伝搬の観点からシステム性能解析における変動率と危険率パラメータを研究する。 [評価]研究課題として適当	継続		支持	
211-4/3	300MHzから100GHzの周波数における近距離の無線通信システム及び無線アクセスシステム、無線LAN(WLAN)のための伝搬データと伝搬モデル	[概要]近距離通信での伝搬モデルや様々な短距離通信業務においてどのようなチャンネル伝搬特性が最も適切かを研究する。 [評価]研究課題として適当	継続		支持	
212-1/3	電離圏特性	[概要]無線通信システムに影響を与える電離圏の諸特性やその地域的变化について研究する。 [評価]研究課題として適当	継続		支持	
213-1/3	電離圏及び電離圏貫通無線通信のための運用パラメータの短期予測	[概要]短期予測の必要性和技術、電離層共鳴及びチャンネル評価の有効性について研究すること。 [評価]研究課題として適当	継続		支持	
214-2/3	電波雑音	[概要]雑音の測定法、雑音の強度、雑音の各種パラメータ等について研究すること。 [評価]研究課題として適当	継続		支持	郵便投票中
218-3/3	宇宙システムに及ぼす電離圏の影響	[概要]電離層が宇宙通信システムに及ぼす因子(シンチレーション、分散特性等)の推定法及び電離圏貫通無線通信の最適なモデルを研究し、調整距離の設定及び周波数共用	継続		支持	

		並びに非静止衛星の運用に資する。 [評価]研究課題として適当				
221/3	スプラディック E 層及び他の電離による VHF 及び UHF 伝搬	[概要]VHF/UHF 帯の電離層伝搬メカニズム、伝搬特性の予測について研究する。 [評価]研究課題として適当	継続		支持	
222-1/3	電離圏のパラメータの測定及びデータバンク	[概要]データ収集及び信号測定技術、HF 電界強度測定及びデータバンク編集等について研究すること。 [評価]研究課題として適当	継続		支持	
225-4/3	デジタル変調技術の使用を含む長波及び中波帯におけるシステムに影響を及ぼす伝搬因子の予測	[概要]予測法の改善、地上波と空間波の共存が LF 及び MF システムに与える作用、LF 及び MF の各種パラメータ等について研究する。 [評価]研究課題として適当	継続		支持	郵便投票中
226-3/3	衛星間伝搬路に対する電離圏及び対流圏特性	[概要]衛星間伝搬における電離圏の影響の研究、対流圏の影響分離の研究を行う。 [評価]研究課題として適当	継続		支持	
227-1/3	短波帯のチャンネルシミュレーション	[概要]短波帯の伝送路をシミュレーションするために必要な特性要素（帯域特性、伝達関数の時間的変化等）について研究する。 [評価]研究課題として適当	継続		支持	
228-1/3	275GHz 以上における無線通信システムの設計に必要な伝搬データ	[概要]地上系、地球から宇宙、宇宙から地球の通信路における大気のパラメータと電磁波の特性の関係や衛星間での自由空間パラメータと電磁波特性との関係について最適なモデルを研究する。 [評価]研究課題として適当	継続		支持	
229/3	デジタル変調技術を利用したシステムにおける約 1.6 ～ 30MHz の周波数帯で	[概要]予測された電離圏特性から基本的、運用的 MUF 及び ray path の長期的予測とその変化について勧告 P.1240 で与	継続		支持	

	の空間波伝搬状況、信号強度、回線品質及び信頼性の予測	えられた方法の改善点を探る研究を行う。 [評価]研究課題として適当				
230/3	電力線通信のための推定法とモデル	[概要]電力線通信システムから無線周波数エネルギーが放射される作用、単一または複数のシステムから放射される総エネルギーの最適なモデル、干渉評価のための最適な信号強度伝搬モデル等を研究する。 [評価]研究課題として適当	継続		支持	
[MAN-M ADE NOISE]/ 3	無線通信システム及びネットワークの性能に及ぼす人工雑音源からの電磁放射の影響	[概要] 個別雑音源からの放射分布の記述及び測定法、無線通信システム及びネットワークの性能に及ぼす人工雑音源からの電磁放射の影響とその記述及び定量化について研究する。 [評価]研究課題として適当	継続		支持	郵便投票中

表〇-3 今会期中に承認された勧告

勧告番号	勧告名	勧告の内容及びコメント	関連WP / 課題番号	新規改訂削除	備考
P. 311-12	対流圏伝搬研究におけるデータの収集、表示及び解析	4.3 節 Testing method for comparing fade duration prediction 及び 4.4 節 Testing method for comparing fade slope prediction の Procedure を修正した。	WP3J/ 201/3	改訂	
P. 313-10	短波予報のための情報の交換と電離層じょう乱警報の伝達	3 節 Exchange of basic data used in short-term forecasts に ISES 等の情報が追加された。	WP3L/ N/A	改訂	
P. 368-8	10kHz~30MHz の地上波伝搬曲線	北半球の季節変動の情報を Annex1 に追記した。	WP3J/ N/A	改訂	
P. 368-9	10kHz~30kHz の地上	10kHz から 30MHz までの	WP3J/	改訂	

	伝搬曲線	周波数帯における地表波伝搬カーブについて、季節変動及びわずかな位置の変化による変動の情報を追加した。	N/A		
P. 372-8	電波雑音	1 節で電波雑音関連の定義を修正し、5 節の人工雑音について新たな測定結果を表 3~4 として追加した。	WP3J/ 214-2/3	改訂	郵便投票 中 (PSAA)
P. 3/BL/5 (P. 373-8)	最高・最低周波数の定義	伝搬予測手法に用いられる最高周波数および最低周波数の定義について、近年使われ始めた新たな用語を追加した。	WP3L/ 212/3	改訂	未発行
P. 452-12	0.7GHz 以上の地表局間 干渉評価に必要な推定 法	適用周波数上限を 30GHz から 50GHz へ拡大し、見通し外伝搬路および伝搬損失計算法の計算式を修正した。また、降雨散乱干渉に関する記述を修正し、Annex 8 を削除した。	WP3M/ 208/3	改訂	
P. 452-12	0.7GHz 以上の地表局間 干渉評価に必要な推定 法	表 3 のパラメータ表の説明を修正した。また、4 節の晴天時伝搬モデル、特に 4.1 節 Diffraction と 4.6 節 The overall prediction の表記を大幅に修正した。	WP3M/ 208/3	改訂	郵便投票 中 (PSAA)
P. 526-9	回折による伝搬	我が国提案の反射係数計算式の修正を行ったほか、障害物の回折損失の評価に対して一般的な指針を示す節等を新たに追加した。 コメント: 日本からの寄与文書を反映。	WP3J/ 202/3	改訂	
P. 526-10	回折による伝搬	回折伝搬の計算について、4.3 節の図及び計算式を訂正し、勧告 P.526-9 を参照して勧告 P.452 を用いて	WP3J/ 202/3	改訂	

		連続ナイフエッジモデルの回折損失を計算した場合、異なる二通りの結果が導き出されるあいまいさを解消した。			
P. 526-10	回折による伝搬	3.2 節の LOS サブパス回折の式(21)群を修正し、その他式(43)と式(88)の符号等のエディトリアルな修正を行った。	WP3J/ 202/3	改訂	郵便投票 予 定 (TAP)
P. 530-11	地上見通し内無線中継方式設計に必要な伝搬データと推定法	マルチホップリンク伝搬特性、複数パスが1局に集中する場合の伝搬特性評価、ダイバーシチ効果、及びサービス開始(Bringing into service)判定への伝搬の影響の記載内容を修正し、無給電中継及び周波数ダイバーシチ効果に関する項目を新設した。	WP3M/ 204/3	改訂	
P. 3/60 (Rev.1) (P. 530-12)	地上見通し内無線中継方式設計に必要な伝搬データと推定法	マルチパスフェージング分布を最悪月平均値から年平均値に変換する手順の一部を明確化し、降雨または湿った降雪による伝搬減衰を予測する複合的手法を追加するとともに、マルチホップ中継における連続したホップのフェージングの分散予測手法を修正した。	WP3M/ 204/3	改訂	未発行
P. 531-8	宇宙機を含む無線通信システムに影響を及ぼす電離圏効果	Instantaneous statistics の式に関する説明を明確にした。	WP3L/ 218/3	改訂	
P. 531-9	宇宙機を含む無線通信システムに影響を及ぼす電離圏効果	衛星通信システム設計に必要な電離層伝搬予測の計算式及び計算に用いられる変数の定義を訂正した。	WP3L/ 218/3	改訂	
P. 533-8	HF 伝搬予測法	3.6 節 The path	WP3L/	改訂	



		operational MUF の係数に関する記述を修正し、関連研究課題番号を削除した。	N/A		
P. 533-8	HF 伝搬予測法	タイトルを変更し、Part 1～3 の 3 部構成に整理した。Part 1 の 3.6 節の月間特性を追加した。Part 2 の 5.2 節の 7000km までの計算法を修正した。Part 3 の 10 節の Basic circuit reliability を大幅に修正した。	WP3L N/A	改訂	郵便投票 予 定 (TAP)
P. 618-8	衛星通信方式設計に必要な伝搬データと推定法	2.2.4.1 節サイトダイバーシチ時の降雨減衰に対する瞬断率推定法を修正し、ダイバーシチ利得とダイバーシチ改善係数間の矛盾を解決した。	WP3M/ 206-3/3	改訂	郵便投票 中 (PSAA)
P. 620-6	1～40GHz の周波数帯における調整距離評価に必要な伝搬データ	最小距離および降雨強度がゼロの場合の扱いを明確化した。	WP3M/ 208/3	改訂	
P. 676-6	大気ガスによる減衰	Annex1 Line-by-line calculation の 22GHz 付近の不連続性を修正した。また、これを受けて Annex2 Approximate estimation の近似式も修正した。	WP3J/ 201/3	改訂	
P. 676-7	大気ガスによる減衰	図 3、6 及び表 2 中の誤記を訂正した。	WP3J/ 201/3	改訂	
P. 682-2	航空移動衛星通信方式設計に必要な伝搬データ	航空衛星移動通信について、航空機着陸時の無線回線へのマルチパス効果による影響を計算する新たなモデルを導入した。	WP3M/ 207/3	改訂	
P. 684-4	約 500kHz 以下の周波数における電界強度計算	2.3 節(Numerical method for calculating resultant field strength and phase) を新設した。 コメント: 日本からの寄与文書を反映。	WP3L/ 225/3	改訂	

P. 833-5	植生による減衰	1 GHz 以上の周波数帯における損失計算法を修正し、動的特性についての情報を勧告 P.1410 から移設した。	WP3J/ 202/3	改訂	
P. 3/65 (Rev.1) (P. 833-6)	植生による減衰	3.2 節の誤記を訂正するとともに樹木遮蔽損失推定法である RET(Radiative Energy Transfer)モデルの変数表に新たな測定に基づくデータを追加した。また、RET モデル計算用の入力変数について、対応する樹木の種類及び周波数を拡張した。さらに、植生による遅延拡散モデルに係る節を新設した。	WP3J/ 202/3	改訂	未発行
P. 834-5	対流圏屈折が電波伝搬に与える影響	大気屈折率変化による通路長差の推定式を修正し、Average excess path delay の world map(図 2)をソフトウェアによる出力とした。	WP3J/ 201/3	改訂	
P. 834-6	対流圏屈折が電波伝搬に与える影響	大気中を伝搬する電波の収束または発散の効果による信号損失または増幅の計算手法を改善した。	WP3J/ 201/3	改訂	
P. 835-4	大気ガス減衰のための参照標準大気	大気屈折率垂直方向プロファイルを修正し、データベース化した。	WP3J/ 201/3	改訂	
P. 837-4	伝搬モデル化のための降水の特性	Annex2 の年間降雨強度統計の 0.01%値のマップを更新し、Annex3 に 1 分間降雨統計量への変換法を新設した。	WP3J/ 201-3/3	改訂	郵便投票中 (PSAA)
P. 838-3	推定法に用いる降雨減衰係数モデル	降雨減衰係数計算に用いるパラメータの近似計算式を修正した。	WP3J/ 201/3	改訂	
P. 841-4	年間統計の最悪月統計への変換	Table 1 の Rain rate にキルギスタンと中国のデータ	WP3J/ 210/3	改訂	

		を追加し、降雨強度の最悪月統計と年間統計量変換式に雨の多い熱帯および温帯の場合と雨の少ない温帯、極地域、砂漠の場合の式を追加した。			
P. 842-3	HF 無線通信システムの信頼性と適合性の計算	表 3 の式の符号を修正した。	WP3L/ N/A	改訂	
P. 842-4	HF 無線通信システムの信頼性と適合性の計算	短波通信システムの信頼性評価に用いる計算式の誤記を訂正した。	WP3L/ N/A	改訂	
P. 1057-1	電波伝搬モデリングに関連した確率分布	Annex2 に対数正規分布とその complementary cumulative distribution の近時計算法を新設した。	WP3J/ N/A	改訂	郵便投票中 (PSAA)
P. 1144-4	SG3 の伝搬推定法適用の手引き	表 1 (伝搬に関する勧告を取りまとめたもの) について、新規 ITU-R P-シリーズ勧告の追加及び既存の勧告への改訂に伴う変更を行った。	WP3M/ N/A	改訂	
P. 1147-3	約 150~1700kHz の周波数帯における空間波電界強度の推定	2.7 節 Hourly loss factor の遠距離(2000km)関連記述を修正した。	WP3L/ 225/3	改訂	
P. 1147-3	約 150~1700kHz の周波数帯における空間波電界強度の推定	Sea gain の計算に用いる図 8a 及び 8b を修正した。 コメント: 日本からの寄与文書を反映。	WP3L/ 225/3	改訂	郵便投票中 (PSAA)
P. 1238-4	900MHz から 100GHz の周波数帯における屋内無線通信システム/無線 LAN の計画のための伝搬データと推定モデル	3 節 Path loss models の表 2 に 70GHz 帯測定結果を追加し、7 節 Effect of building materials, furnishings and furniture にガラスの複素誘電率計算式を追加した。また、反射係数の式(7b)を修正し、8 節 Effect of movement of objects in the room に人体遮蔽継続時間特性および地下街伝搬損失計算法	WP3K/ 211/3	改訂	

		を新たに追加した。 コメント:日本からの寄与 文書を反映。			
P. 1238-5	900MHz から 100GHz の周波数帯における屋 内無線通信システム/無 線 LAN の計画のための 伝搬データと推定モデ ル	MIMO(Multi-Input Multi-Output)方式の伝搬 特性推定に必要な角度拡 がりに係る節を新設する とともに、反射・透過係数 の計算式及び地下街伝搬 損失推定式の変数を訂正 した。 コメント:日本からの寄与 文書を反映。	WP3K/ 211/3	改訂	
P. 3/57 (Rev.1) (P. 1239-1)	ITU 標準電離圏特性	電離層反射を用いる通信 について、最高通信可能周 波数予測の情報の利用を 促進するため、F層電子密 度値の変動に関する情報 を表として追加した。	WP3L/ 212/3	改訂	未発行
P. 3/58 (Rev.1) (P. 1240-1)	基本 MFU、運用 MFU、 電波通路の予測法	電離層反射を用いる通信 について、勧告 P. 1239 の 改訂に伴い、最高通信可能 周波数を P. 1239 を用いて 予測する手法に係る項目 を追加した。	WP3L/ 212/3	改訂	未発行
P. 1321-1	LF/MF 帯におけるディ ジタル変調技術を用い るシステムに影響を及 ぼす伝搬因子	2.1 節の Ground wave mode の説明を修正し、4 節の Variability の説明と 表 1 の数値を更新した。	WP3J/ 225/3	改訂	
P. 3/63 (Rev.1) (P. 1321-2)	LF/MF 帯におけるディ ジタル変調技術を用い るシステムに影響を及 ぼす伝搬因子	デジタル変調方式を用 いる長波及び中波システ ムの電波伝搬に影響を与 える要因について、地表波 伝搬の季節変動及びわず かな位置の変化による変 動の情報を追加した。	WP3J/ 225/3	改訂	未発行
P. 1406	VHF 及び UHF 帯陸上移 動通信業務に関連する 伝搬の効果	対象として broadcasting も追加し、タイトルを変更 して 3.2.2 節にマルチパス フェージングの項を新設	WP3K/ 203/3	改訂	郵便投票 中(PSAA)

		した。			
P. 1407-2	マルチパス伝搬及びその特性のパラメータ化	用語の定義を追加した。また、空間平均と時間平均した電力遅延プロファイル例を図 1 に載せ、図 2 に遅延スプレッド等の計算で用いる積分範囲等を説明し、従来の説明図より分かり易くした。 コメント: 日本からの寄与文書を反映。	WP3K/ 203/3	改訂	
P. 3/83 (Rev.1) (P. 1407-3)	マルチパス伝搬及びその特性のパラメータ化	マルチパス伝搬特性について、遅延プロファイルにおけるパスの数を決定するためのしきい値の定義を明確化するとともに、到来角度プロファイルのパラメータを新たに定義した。	WP3K/ 203/3	改訂	未発行
P. 1410-3	約 20~50GHz の周波数で運用される陸上広帯域ミリ波アクセスシステムの設計に必要な伝搬データ及び推定法	植生による損失に情報を追加し、ロードダイバーシティ効果の計算法を修正した。さらに、4.1 節「植生の動的影響」を勧告 P. 833 へ移行した。 コメント: 日本からの寄与文書を反映。	WP3K/ 203/3	改訂	
P. 3/77 (Rev.1) (P. 1410-4)	約 20~50GHz の周波数で運用される陸上広帯域ミリ波アクセスシステムの設計に必要な伝搬データ及び推定法	対象周波数帯を 20-50GHz から 3-60GHz に拡張した。これに伴い、勧告タイトル及び Introduction から millimetric の単語を削除し、マイクロ波帯の使用を念頭に置いた各種システムの記述を追加した。また、粗面に対する反射・散乱損失モデル及び勧告 P. 1411 の測定結果を参照した建物透過損失情報を追加し、伝搬メカニズムの周	WP3K/ 203/3	改訂	未発行

		波数特性に係る節を新設した。			
P. 1411-3	900MHz から 100GHz の周波数帯における屋外無線通信システム/無線 LAN の計画のための伝搬データと推定モデル	4.2 節 Models of NLOS situation の適用領域の一部を 5GHz まで拡張した。また、6 節 Multipath models の節整理と遅延スプレッド測定値テーブル及び、10 節 Fading characteristics を新設した。 コメント:日本からの寄与文書を反映。	WP3K/ N/A	改訂	
P. 1411-3	900MHz から 100GHz の周波数帯における屋外無線通信システム/無線 LAN の計画のための伝搬データと推定モデル	Table3 のセル定義を修正した。4.2 節 Models of NLOS situation の屋根越え伝搬環境における適用周波数拡張と距離等に対する不連続性の是正、郊外地への適用エリア拡大、ストリート環境での適用周波数拡大を行った。また 4.3 節として UHF 帯低アンテナ高での伝搬損失を追加し、7 節 Number of signal components への新データ追加と表の統合を行った。 コメント:日本からの寄与文書を反映。	WP3K/ N/A	改訂	郵便投票 中 (PSAA)
P. 1546-2	30MHz～3GHz 帯陸上通信のためのポイント-エリア伝搬特性推定法	陸・海混合伝搬路に対する電界強度の計算式の修正等を行った。	WP3K/ N/A	改訂	
P. 1546-2	30MHz～3GHz 帯陸上移動通信のためのポイント-エリア伝搬特性推定法	4.3 節の送信アンテナ高が 10m 以下の場合の計算法を修正、8 節の混合伝搬路について説明を追加、13 節の対流圏散乱補正の項と 14 節の 1km 以下での補正の項を修正及び Table4 の計算用パラメータリス	WP3K/ N/A	改訂	郵便投票 予 定 (TAP)

		トを修正した。			
P. 1621-1	20THz～375THz における地上～衛星間方式設計に必要な伝搬データ	エディトリアルな修正を行った。	WP3J/ N/A	改訂	
P. 1623-1	地上～衛星間伝搬路におけるフェージング動特性の推定法	フェードスロープ値の累積分布推定式を修正した。	WP3J/ 201/3	改訂	
P. 1791	UWB 機器が他の無線局に与える影響を評価するための伝搬予測	UWB 機器が他の無線局に与える影響を評価するための伝搬予測に係る新勧告案。 1-10GHz の周波数帯に適用可能なUWB伝搬損失の実験に基づくモデルを記述するとともに、狭帯域通信受信機で受信されるUWB送信機からの電力の評価手法を提供する。	WP3K/ 211/3	新規	
P. [PATH_SP ECIFIC]	VHF 及び UHF 帯におけるポイント-エリア地上業務のためのパススペシフィック伝搬推定法	VHF 及び UHF 帯における地上業務のためのポイント-エリアパススペシフィック伝搬損失推定法に関する新勧告案。	WP3K/	新規	郵便投票 予定 (TAP)
P. [FSO_PR EDICT]	地上自由空間光伝送方式設計のために必要な推定法	自由空間光波伝送システム設計に必要な晴天時光波伝搬損失計算法、霧、雨、雪の損失計算法、シンチレーションの影響評価法、太陽光雑音の影響評価法等に関する新勧告案。	WP3M/ 228/3	新規	郵便投票 中(PSAA)
P. [DiffRatt]	降雨減衰差	同一宇宙局に接続した不達の地上局間伝搬路の伝搬損失差統計推定法に関する新勧告案。	WP3M/ 208/3	新規	郵便投票 中(PSAA)
P. [TIME-SPA TIAL_PRO FILE]	UHF 及び SHF 帯を用いる広帯域陸上移動業務のための時間および空間プロファイル推定法	UHF 及び SHF 帯を用いる広帯域陸上移動業務のための遅延及び角度プロファイル推定法に関する新勧告案。 コメント: 日本提案が基礎	WP3K/ 211/3	新規	郵便投票 中(PSAA)

		となっている。			
P. [FSO_AT MDS]	自由空間光伝送方式設計のために必要な伝搬データ	自由空間光波伝送システム設計のために必要な伝搬データ及びその定量的推定法に関する新勧告案。	WP3J/ 228/3	新規	郵便投票 中(PSAA)